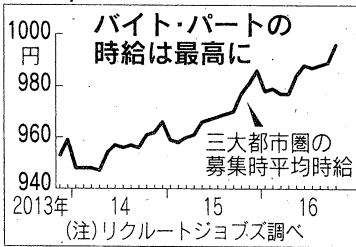


10月、最低賃金上げを反映

アルバイトやパートの時給が一段と上昇している。求人情報各社の集計によると、10月の平均時給は1千円前後と過去最高水準。比較可能な2002年度以降最大の上げ幅となった最低賃金の適用で小売りなどが時給を引き上げた。人手不足で上昇が先行した都心部の動きが鈍い中、郊外や地方の引き上げが目立つ。

求人情報大手のリクルートジョブズ（東京・中央）が21日発表した三大都市圏（首都圏・東海・関西）の募集時平均時給は、前の月と比べ7円高い996円。調査を始めた06

バイト時給上昇 地方にも波及



年1月以降で最高額だった。「小売りや物流業で最低賃金改定に伴う引き上げが目立った」（同社）

同業のディップがまとめた全国の平均時給は1005円と前の月と比べ

小売りや外食 中心に

22円上昇した。インテリジェンスがまとめた平均時給も1003円と、02年の調査開始以降で初めて1千円台に乗った9月と並ぶ。

都心部の上昇が緩やかになる一方で、関東郊外や九州、東海などの地方の時給上昇が目立った。コンビニは「最低賃金付近の募集が多い地方のオーナー店が引き上げに動いた」（ディップ）。郊外の設置が相次ぐ物流拠点で働く作業員の時給も上昇幅が大きい。

神奈川県を中心に展開するドラッグストアの人事担当者は「横浜市や川崎市以外の地域は最低賃金水準で募集しており、改定に合わせて見直した」と話す。石川県を中心にカレット店「ゴールドカレー」を展開するゴールドフーズ（金沢市）は最低賃金の改定に対応、10月からアルバイト採用時の時給を750円から800円に引き上げた。

企業は通常、時給を10円刻みで設定する場合が多いが、最低賃金の大幅上昇を反映して1円刻みで最低賃金に対応する例も出てきている。